

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-37818

(43)公開日 平成6年(1994)5月20日

(51)IntCl.⁵

G 02 B 26/10

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

102

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号

実願平4-78523

(22)出願日

平成4年(1992)10月16日

(71)出願人 000002233

株式会社三協精機製作所

長野県諏訪郡下諏訪町5329番地

(72)考案者 黒沢 博徳

長野県諏訪郡下諏訪町5329番地 株式会社

三協精機製作所内

(74)代理人 弁理士 永田 武三郎

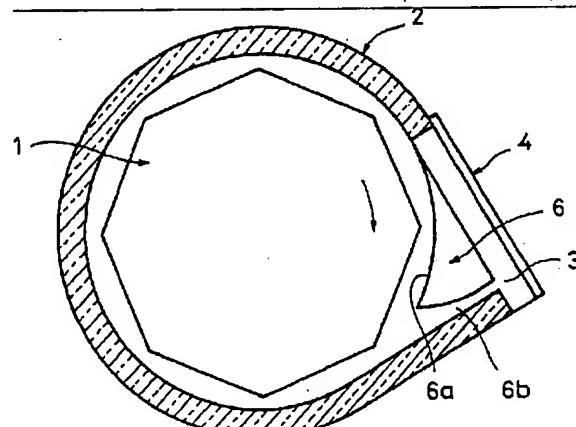
(54)【考案の名称】 ミラー回転用モータ

(57)【要約】

【目的】 ポリゴンミラーの高速回転によってケース内に発生する空気流を整流して、ミラーの上下移動を制御できるミラー回転用モータを提供する。

【構成】 ポリゴンミラーを覆う円筒形ケース2内に、レーザビーム入射用窓ガラス4をつけるための三角形突出空間3を設けたミラー回転用モータにおいて、三角形空間3に整流部材6を設けて実質的に中実にすると共にケースとの間に溝6bを残す。

【効果】 上記構成によれば、ミラー上下面の空気の流れを減少することができる。また溝6bを設けた構成により、ミラー上下面の圧力差を均等にすることができる。



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ケース内に回転軸と一体回転してレーザビームを走査する回転ミラーを有し、前記ケース内にレーザビーム入出射用窓をつけるための突出空間を設けたミラー回転用モータにおいて、前記突出空間に、回転ミラーの回転によって発生する空気流を整流する整流部材が設けられていることを特徴とするミラー回転用モータ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示すミラー回転用モータの 10 縦断面図である。

【図2】 図1の(X-X)線の横断面図である。

【図3】 他の実施例によるミラー回転用モータの横断面

図である。

【図4】 他の実施例によるミラー回転用モータの横断面図である。

【図5】 従来のミラー回転用モータの横断面図である。

【符号の説明】

1 ポリゴンミラー

2 ケース

3 三角形突出空間

4 ガラス板

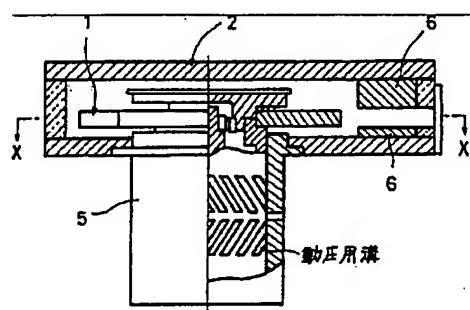
5 モータ本体

6 整流部材

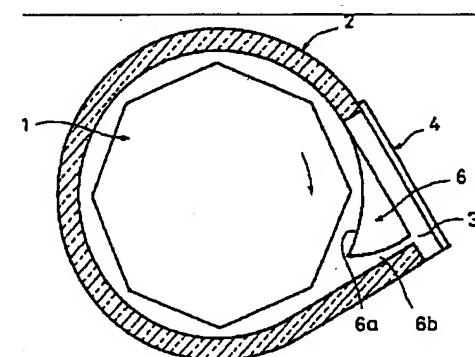
6a 整流部材の円弧面

6b 溝

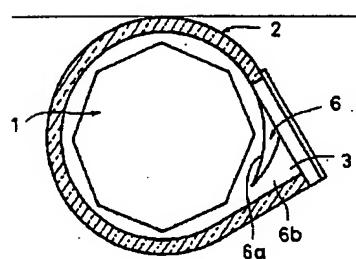
【図1】



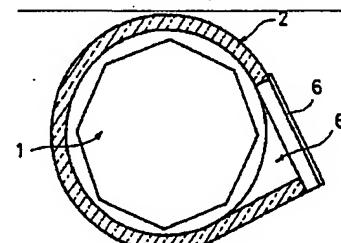
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

